

ESG説明会

ESGと事業成長の
同軸化に向けて

2023年11月28日

株式会社リコー

コーポレート執行役員 ESG・リスクマネジメント担当

鈴木 美佳子

20次中計の振り返り

21次中経のESG戦略の概要

社会・お客様要求の動向

ESGと事業成長の同軸化に向けた取り組み

20次中計の主な成果

- ESGの**経営システム統合が深化**（意思決定システム、役員報酬連動、開示の強化による透明性向上など）
- 脱炭素、サーキュラーエコノミーなど環境目標は計画通り進捗
- サプライチェーンマネジメント・人権対応がグローバルレベルに向上
- グローバル人材データの可視化、女性活躍が進展

Environment	GHG削減 スコープ1・2 45.5% 減 スコープ3* 31.4% 減 <small>*調達・輸送・使用カテゴリー</small>	電力の再エネ比率 30.2%	製品新規資源使用率 84.9%
Social	RBA認定取得 主要生産 5 拠点完了	サプライヤー行動規範 署名率 98%	女性管理職比率 日本 6.9% グローバル 16.3%
Governance	意思決定システム ESG委員会 4 回/年 取締役会 28.1% * <small>*議案テーマ別時間配分</small>	役員報酬連動 ESG目標・DJSIが 賞与算定式に連動	ガバナンス情報の開示 取締役ダイバーシティポリシー スキルマトリックス etc.

情報開示の レベルアップ^o

統合報告書

TCFD
CEレポート

ESGデータブック

ESGWEBサイト

主なESG外部評価結果（22年度）

- ESG外部評価を企業の**健康診断ツールと位置づけ**、経営陣・現場と「取り組み」と「開示」を強化
- 外部評価では**ESGのGlobalトップクラス**の企業として認識されつつある。

	評価指標	2022実績	リコーグループのポジション	2023速報
調査票回答による評価	DJSI	3年連続World Index	グローバル約7,800社中 上位5%	セクター内最高得点 2023/10/27時点
	日経SDGs 経営調査	★★★★★ 環境価値賞 開始来連続5ツ星/大賞1回、環境価値賞2回受賞	866社中 上位8社	★★★★★ 開始来連続5ツ星
	CDP	Climate : A/Water : A- Climateは3年連続A評価	Climateは約18,700社中 Aリストは272社	12月発表
	EcoVadis	GOLD	評価対象約10万社中 上位5%	2024年3月発表
開示情報による調査	FTSE	FTSE Blossom Japan採用		FTSE Blossom Japan採用
	MSCI ESG	AA Select Leaders指数採用	GPIFのESG指数 全て採用	AA Select Leaders指数採用
	MSCI WIN	Win採用		Win採用
	Global100	80位	6,700社中 80位	2024年1月発表
	ゴメスESGサイトランキング	13位	日本企業378社中 上位3%	4位

21次中経ESG戦略の概要

- 21次中経で目指すこと/ESG戦略の方向性
- 7つのマテリアリティと16のESG目標
- 役員報酬連動



21次中経で目指すこと

- 持続的な企業価値向上を通じたESGグローバルトップ企業を目指す
- 「ESGと事業成長の同軸化」による「“はたらく”に喜びを」の実現

20次中計までの 主な実施事項

- 過去との決別と5大原則見直し
- 「“はたらく”に喜びを」長期ビジョン制定
- OA企業からデジタルサービスの会社への転換を宣言
- カンパニー制への移行、ROIC経営の導入、事業ポートフォリオマネジメントの導入等の社内改革を実行
- 成長投資の実施
- 「人」への拘り：自律型人材の奨励
- ESG先進企業として高い評価獲得

21次中経に向けた 改善点

- 収益構造の変革と収益性の向上
- 環境変化への対応力の向上
- 現場のデジタル化領域での収益の柱の育成

21次中経で 強化するポイント

- 顧客接点での価値創造力の強化
- グループかつグローバル経営の高度化
- ビジネスモデル変革を加速し、ストック収益を拡大
- 変化への対応力の強い組織プロセスの構築
- 更なる資本効率重視の経営
- 成長投資の継続
- 会社の成長と社員の自己実現の両立
- 持続的な企業価値向上を通じたESGグローバルトップ企業

*2023年3月7日「第21次中期経営戦略」より抜粋

- **グローバルトップレベルのESG活動を目指す**
- **さらなるESGと事業成長の同軸化に挑戦**
 - 事業戦略を後押しするESG目標（デジタルサービス変革、社会・顧客の期待）（P.8）
 - 経営システムとの統合の強化（16のESG目標と役員株式報酬制度）（P.10）
 - 事業を通じた社会課題解決の強化/お客様への提案強化（P.19）
 - アドボカシー活動とグローバル発信の強化（P.27）
 - 積極的な情報開示、ステークホルダーと双方向コミュニケーションは今後も継続（P.28）

21次中経のマテリアリティ

- 20次中計の7つのマテリアリティを2つの視点で改訂(デジタルサービスの会社への変革、社会・顧客要請への対応)

	マテリアリティ	戦略的意義	関連事業、主な取り組み
事業を通じた社会課題解決	“はたらく”の変革	人とデジタルの力で、はたらく人やはたらく場をつなぎ、お客様の“はたらく”を変革するデジタルサービスを提供し、 生産性向上・価値創造を支援 する。	オフィスサービス、ドキュメントイメージング、スマートビジョン
	★ 地域・社会の発展	技術 x 顧客接点力で、 地域・社会システムの維持発展、効率化に貢献 し、価値提供領域を拡大する。	GEMBA(オフィス以外を対象とした保守・サービス) バイオメディカル、教育ソリューション、自治体ソリューション
	脱炭素社会の実現	バリューチェーン全体の脱炭素化 に取り組み、カーボン ニュートラルへの貢献を通じたビジネス機会を創出する。	環境配慮型複合機、商用印刷 シリコンライナーレス、ラベルレス、PLAiR
	循環型社会の実現	自社および顧客のサーキュラーエコノミー型ビジネスモデル構築 によりビジネス機会を創出する。	
経営基盤の強化	★ 責任あるビジネスプロセスの構築	サプライチェーン全体を俯瞰してビジネスプロセスのESGRリスク最小化 を図り、ステークホルダーの信頼を獲得する。	人権DD、紛争鉱物対応、サプライヤー脱炭素目標設定 NIST SP800-171に準拠したセキュリティ強化 コンプライアンスサーベイの実施と改善活動
	★ オープンイノベーションの強化	社会課題解決型の事業を迅速に生み出すために、自前主義を脱却し 新たな価値創出プロセスへの転換 を図る。	外部の有力な技術・知見を獲得し、新たな価値創出能力を強化 デジタルサービスの会社への変革に資する特許出願活動へ変化
	★ 多様な人材の活躍	多様な人材がポテンシャルを発揮できる企業文化 を育み、変化に強い社員・会社へと変革する。	顧客へのデジタルサービス提供、社内DXを支える人材の育成 2036年ビジョン“はたらくに歓びを”を社員が実感できる風土づくり

★ : 20次中計からの改訂

21次中経の全社ESG目標

● 7つのマテリアリティに対するKPIとして**16のESG目標**を設定

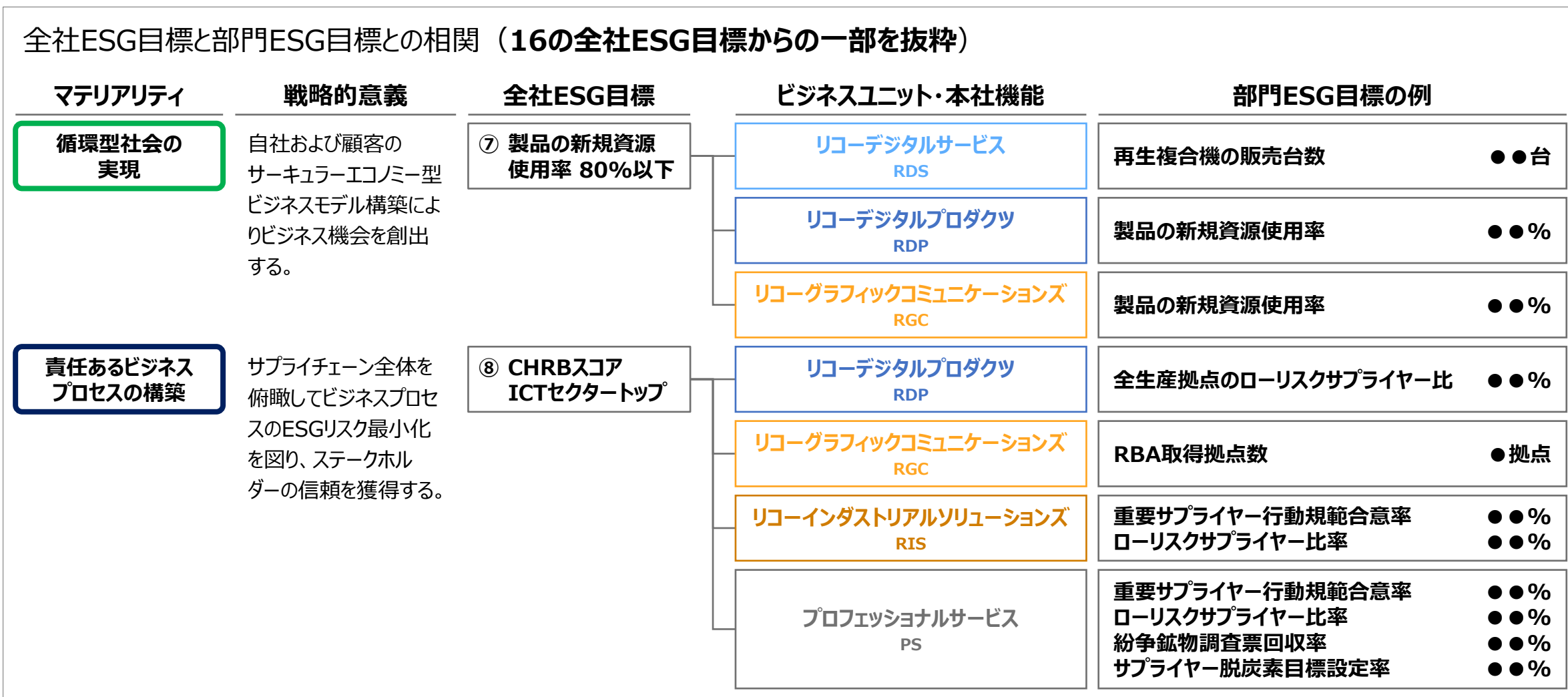
	マテリアリティ	21次中経 全社ESG目標 (2025年度末)	内容・設定の狙い		
事業を通じた社会課題解決	“はたらく”の変革	① 顧客からの評価	29%	デジタルサービスの会社としての顧客からの評価向上	D
	地域・社会の発展	② 生活基盤向上貢献人数	1,500~2,000万人	教育、医療、まちづくりの分野での社会課題の解決	S
	脱炭素社会の実現	③ GHGスコープ1,2削減率 (2015年比)	50%	SBT1.5℃基準に基づくGHG削減	S
		④ GHGスコープ3削減率 (2015年比)	35%		S
		⑤ 使用電力の再生可能エネルギー比率	40%	RE100基準の追加性も踏まえた再エネ利用の拡大	S
		⑥ 削減貢献量	1,400千t	社会全体でのGHG削減への貢献	S
	循環型社会の実現	⑦ 製品の新規資源使用率	80%以下	再生製品・材料の活用、サーキュラーエコノミー対応	S
経営基盤の強化	責任ある ビジネスプロセスの構築	⑧ CHRB*スコア	ICTセクタートップ	グローバルな人権要請への対応	S
		⑨ NIST SP800-171準拠 自社基盤事業環境カバー率	80%以上	国際基準での情報セキュリティ対応	S
		⑩ 低コンプライアンスリスク グループ企業比率	80%以上	コンプライアンスの強化・リスク低減	S
	オープンイノベーション の強化	⑪ 共同研究・開発契約のウェイト	25%	自前主義の脱却と新たな価値創出プロセスの強化	D
		⑫ デジタルサービス特許出願比率	60%	デジタルサービス領域の特許出願の強化	D
	多様な人材の活躍	⑬ リコーデジタルスキル レベル2以上の人数 (国内)	4,000人	社員のデジタルスキル底上げ・デジタルサービスの創出加速	D
		⑭ プロセスDX シルバーステージ認定者育成率	40%	プロセスDXの社内実践とお客様への価値提供の強化	D
		⑮ エンゲージメントスコア (全社/地域別)	RG3.91	グローバル共通の企業風土の醸成	S
⑯ 女性管理職比率 (グローバル/国内)		20%/10%	グローバルな女性活躍の推進	S	

* Corporate Human Rights Benchmark : 機関投資家とNGOが設立した人権関連の国際イニシアチブ 5セクター(農産物、アパレル、採掘、ICT、自動車)のグローバル企業から約250社を選定して評価。評価対象外の場合は、外部機関の第三者レビューを含むセルフアセスメントにてスコア算出

凡例 D: デジタルサービスの会社への変革 S: 社会・顧客要請への対応

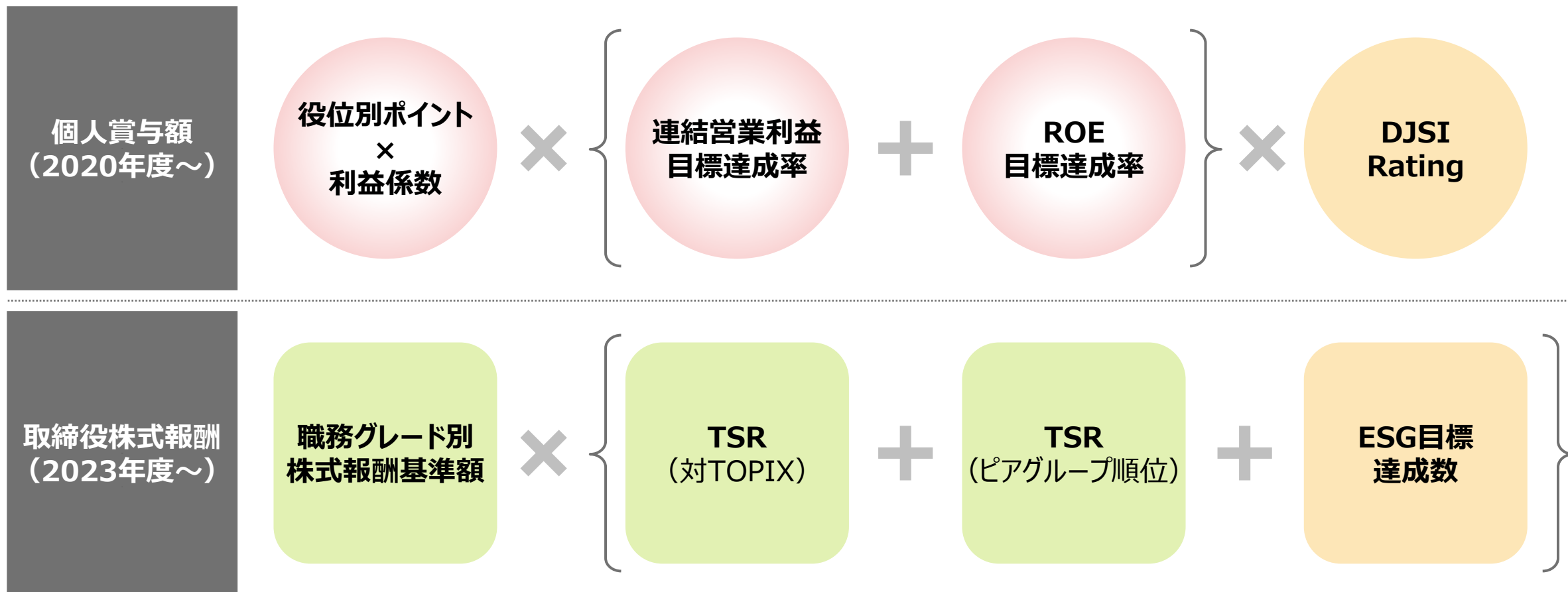
- 16の全社ESG目標は、各部門目標にブレイクダウン

全社ESG目標と部門ESG目標との相関（16の全社ESG目標からの一部を抜粋）



役員報酬連動

- 賞与算定式に加えて取締役株式報酬制度にもESG要素を追加（全体の2割）
- 16の全社ESG目標の達成数で評価
- 評価期間は3事業年度



● 脱炭素やサーキュラーエコノミー、生物多様性保全の具体的な取り組みを推進中

	トピックス
2023年4月	<ul style="list-style-type: none"> ● 企業理念を改訂、「”はたらく”に喜びを」を「使命と目指す姿」に定める ● GPIFの国内株式運用機関が選ぶ「優れたTCFD開示」に選定
2023年6月	<ul style="list-style-type: none"> ● 三井住友信託銀行と「ポジティブ・インパクト・ファイナンス」の融資契約を2年連続で締結 ● 会長 山下がJCLP*1 共同代表として、気候変動問題への科学的分析の活性化を環境省に提言 ● 「アジア太平洋地域気候変動リーダー企業」に2年連続で選出 ● みずほ銀行と「Mizuho Eco Finance」の融資契約を締結
2023年7月	<ul style="list-style-type: none"> ● スコープ3の削減シナリオを策定しGHG排出削減を強化
2023年8月	<ul style="list-style-type: none"> ● リコーグループ初のバーチャルPPA*2による再エネ導入開始
2023年10月	<ul style="list-style-type: none"> ● リコーえなの森が30by30*3 に基づく環境省「自然共生サイト認定事業」にて自然共生サイトに正式認定 ● A3フルカラー複合機「RICOH IM C6010」など7機種16モデルが資源循環技術・システム表彰で奨励賞およびコラボレーション賞を受賞 ● A3フルカラー複合機の2世代にわたるトナーカートリッジ再生の取り組みがリデュース・リユース・リサイクル推進功労者等表彰で経済産業大臣賞を受賞 ● 企業年金における「日本版スチュワード・シップコード」の受け入れ表明
2023年11月	<ul style="list-style-type: none"> ● 世界的な社会課題に関するグローバルフォーラム「Reuters NEXT 2023」に参画 ● 余剰電力を活用した自己託送*4 サービス等による建物の価値向上プロジェクトを開始

*1 日本気候リーダーズ・パートナーシップ

*2 Power Purchase Agreement

*3 2021年6月のG7サミットで合意された、2030年までに陸と海の30%以上を健全な生態系として効果的に保全しようとする目標

*4 遠隔地に設置した太陽光発電設備から、発電した電気を一般送配電事業者が保有する送配電ネットワークを通じて、自社の建物または自社グループの建物に送電する仕組み

社会・お客様要求の動向



欧州 サーキュラーエコノミーに関する法規制（EU ESPR*¹・包装と包装廃棄物規則案）

- 伊・仏のグリーン公共調達では、MFP・プリンタについて**所定割合で再生消耗品が要求**される
- 仏では、AGEC*²法によりMFP調達時**一定割合の再生機を含めると加点**されるケースもでてきた
- プラスチック包装税、包装と包装廃棄物規則案による問い合わせが増加。オランダの公共入札では、**リサイクル梱包材の使用や梱包材のリサイクルの要求**があった

欧州 人権デューディリジェンスに関する法規制（CSDDD*³・各国人権DD法）

- 2023年6月CSDDDドラフトが採択、今後EU各国での法整備が加速する
- すでにドイツ公共調達では、納品する製品の**生産拠点についてILO*⁴遵守状況の提出**が要求されるケースも発生
- ドイツ企業の**北米拠点での商談契約時に、独サプライチェーンDD法に基づく人権・環境DDの実施を求められた**

日本 公共調達におけるCFP*⁵開示、カーボンオフセット要求（グリーン購入法）

- グリーン購入法が見直しされ、2024年4月から複合機の公共調達時、**CFPの開示が義務化**。カーボンオフセットは任意要求
- 東京都では2023年4月から**CFP開示やカーボンオフセット要求が調達ガイドラインに反映**された
- 民間企業でも**大手に限らず、中小でもカーボンオフセット**を採用するケースが増加

*1 Ecodesign for Sustainable Products Regulation

*2 Anti-Waste and Circular Economy Law

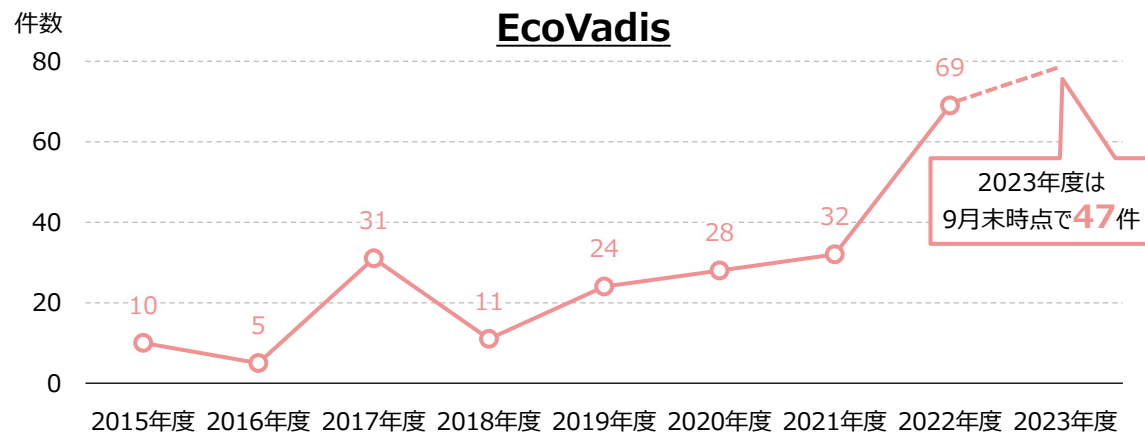
*3 Corporate Sustainability Due Diligence Directive

*4 International Labour Organization

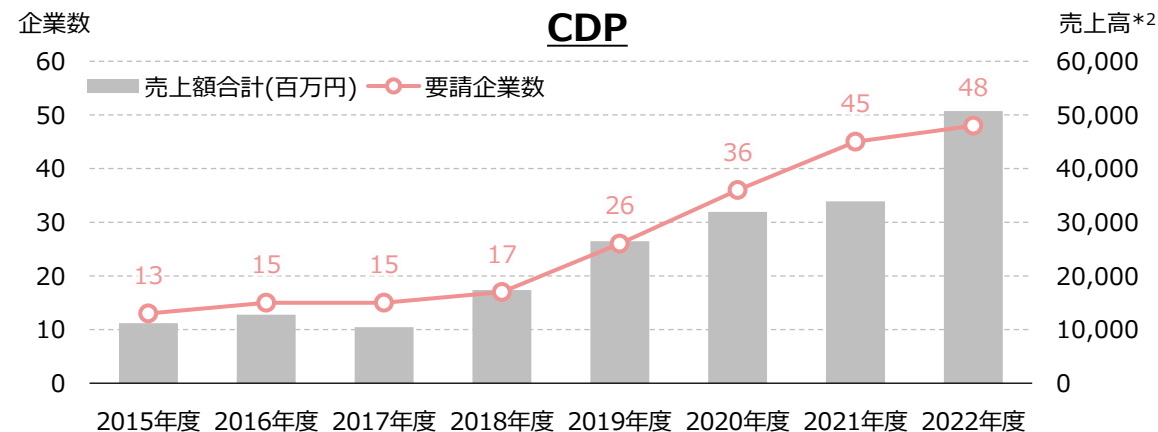
*5 Carbon Footprint of Products

- EcoVadis*¹のスコア開示要請数がここ数年で急増
- CDPを通じたCO2排出量の情報提出要請も年々増加

スコア開示要請数の推移



CO2排出量の提供要請数の推移



22年度開示要求のあった48社に対する売上高は**500億円**以上

顧客からリコーへのレーティング・スコアの要求の例

EcoVadisに関する要求例

- 総合スコアが**47点以上**であること（リコーはクリア）
- 2～3年以内に**総合スコア75点以上を達成するための計画提出**

CDPに関する要求例

- 契約書で**CDPのレーティングAを要求**（リコーのClimateのレーティングはA）

*1 仏のサステナビリティ・サプライチェーンの評価会社

*2 排出量の提供要請を受けた企業に対するリコーグループの売上高

顧客からのESG要求事例① フランス公共調達

- ESGの配点は20点（環境10点、社会10点）と高配点
- 環境パートでは、再生材含有率・再生機提供などが求められた



商談概要

- 商談規模 複合機 **10,000台**以上
- 特に環境・社会が高く評価され、リコーが採用決定

サプライヤー選定要素

配点 合計100点	40点	価格
	20点	製品の品質
	20点	サービスの品質
	10点	環境（製品の省エネ性能、化学物質排出量、再生材含有率、再生機提供）
	10点	社会（就労に困難を抱える人の採用や支援、製品のアクセシビリティ）

UKの公共調達ではESGの配点が30点となる案件も発生

顧客からのESG要求事例② オランダ民間企業

- ESGの取り組みを金額換算し、サプライヤーの評価に反映



商談概要

- 複合機**100台**以上
- 「サービス&メンテナンス」「導入計画」「サステナビリティ」の**3つの付加価値を金額換算**
- 入札価格から3つの付加価値の金額換算分をマイナス、最終評価金額を決定
- **サステナビリティが経済価値と同等に評価**された事例

最終評価額算出のイメージ

評価方式	①入札価格	€×××××	各項目のリコーの評価
	②サービスとメンテナンス	€××××	抜群の付加価値
	③実施計画と返品	€××××	良い付加価値
	④サステナビリティ	€××××	抜群の付加価値
	⑤最終評価金額	€×××××	①-(②+③+④)

サステナビリティの要求事項例

EUエコラベル/エナジースター

段ボールの再生材使用率

プラスチック包装の再生材使用率

カートリッジの回収

回収したカートリッジの再生・リサイクル

現地販社ではサステナビリティのスコアがなければ競合に負けていたと分析

- 公共調達においてグリーン調達の基準が整備されつつある
- 大手だけでなく中小企業にもSDGs貢献やESGへの取り組みが拡大



民間企業の状況

- 欧州企業は、国内中小企業に対してもEcoVadisやCDPのレーティング・スコアを要求
- 国内の取引先からもSDGs貢献の具体的な取り組みを示すことが求められ始めている
- 「何から着手したらいいか」に困っている企業も多い

顧客のグリーン調達の支援例

- 環境配慮型複合機IMCシリーズ + カーボンオフセットサービスの提供
- **カーボンオフセットサービスは、大手企業の一括採用に加え、中小企業でも採用実績が**ではじめている
 - 証明書を「自社のSDGs貢献の取り組み」としてHPに開示するケースも

リコーが発行するカーボンオフセット証明書

RICOH

20xx年xx月xx日

リコー株式会社

(お客様)様

ご購入製品カーボンオフセット証明書

ご購入いただきました以下の製品のクレジットを活用したカーボンオフセットにつきまして、以下の通り実施したことを証明いたします。

記

- リコーの複合機カーボンオフセット
「RICOH カーボンオフセットサービス」をご注文いただいたお客様の対象製品につきまして、エコポイントに基づき算出された製品カーボンオフセットクレジット(ライフサイクルCO2排出量)に相当するクレジットを活用することにより、カーボンオフセットを実施し、「CO2 排出量実質ゼロ」の製品を実現しております。
製品のライフサイクルの5つのステージのうち、「使用・維持管理」ステージのCO2排出量に相当するカーボンオフセットはお客様が実施されたものとして、直対法の報告書等にご活用いただくことができます。
またライフサイクル全体でカーボンオフセット済みの製品を購入されていることは、グリーン購入による脱炭素社会への貢献となります。
- 製品のライフサイクル全体のCO2排出量
この度のカーボンオフセット対象製品のCO2排出量は別紙に記載しております。
- 活用したクレジット
活用したクレジットについては以下の通りです。

	排出量	オフセット量*	クレジット種別	説明
使用・維持管理ステージ分	680kg-CO2	1t-CO2	JCL-xxx-xxxx-xxxx	お客様が実施したカーボンオフセットとみなされます。(リコージャパンが代行)直対法の報告書等にクレジット特定番号をご記載いただきます。
上記以外のステージ分	1,780kg-CO2	2t-CO2	JCL-xxx-xxxx-xxxx	お客様が実施したカーボンオフセットとはなりません。カーボン・コミュニケーション製品の購入として、ホームページやCSR報告書にご記載いただけます。

*1. 本表の数値は切り上げとなります。
※使用しているクレジットの種類については営業担当にお尋ねください。またクレジットの活用方法については、クレジット制度ホームページをご確認ください。

以上

欧州を中心に人権DDやサーキュラーエコノミーに関する法規制が加速
商談時のESG要求や顧客問い合わせにも影響

商談時のESG項目の高配点化が進み、経済価値と同等の評価になりつつある

国内ではCFP開示・カーボンオフセットが公共調達に加え、民間・中小企業にも波及

国内外の商談・取引時にQCD + ESG要求が増加
商談参加・獲得の要件化が進んでいる

ESGと事業成長の同軸化に向けた取り組み

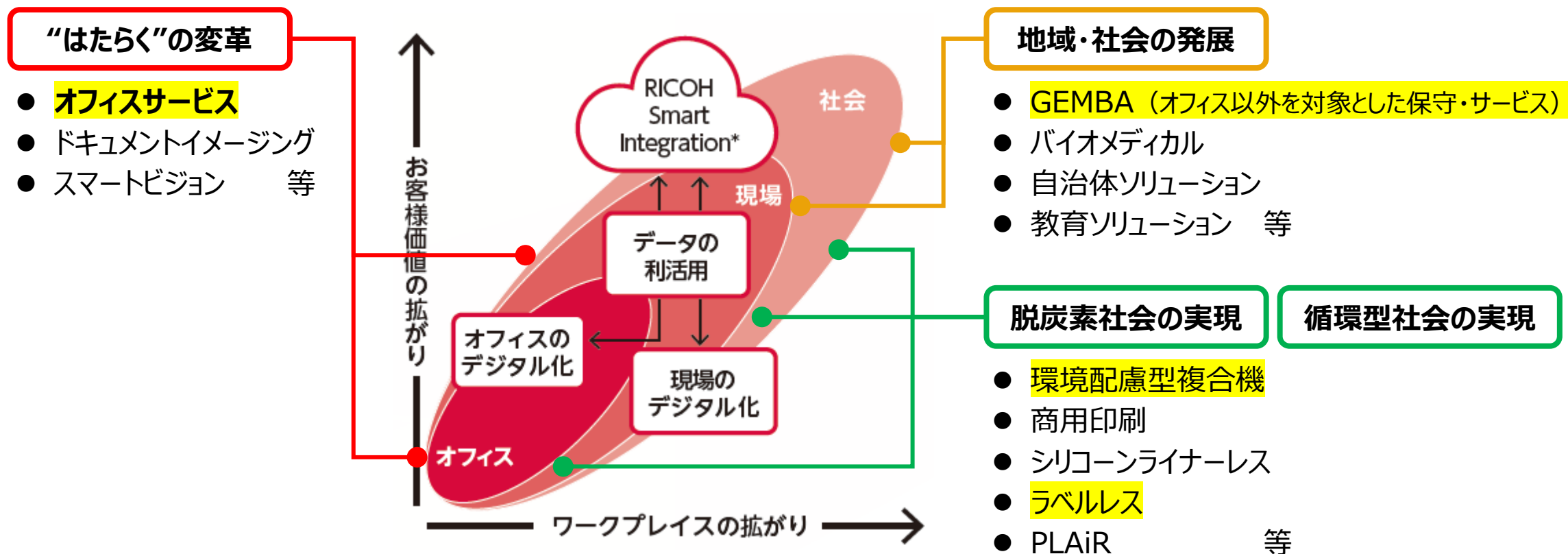
- 事業を通じた社会課題解決事例
- アドボカシー活動
- 情報開示



21次中経で注力する社会課題解決型事業

- マテリアリティに基づき、21次中経で注力する社会課題解決型事業を特定

リコーの価値提供領域と社会課題解決型事業



*リコーグループ共通のプラットフォーム

<オフィスサービス> 中小企業のDXによる生産性向上に貢献

- 業種業務ごとに課題解決をサポートするスクラムパッケージを提供
中小企業のワークプレイスのDXを支え、“はたらく”の変革に貢献

“はたらく”の変革

社会・顧客課題

- 中小企業の生産性向上・成長支援
- 高齢化、人手不足、長時間労働等への対応、DXの活用

リコーの取り組み・強み

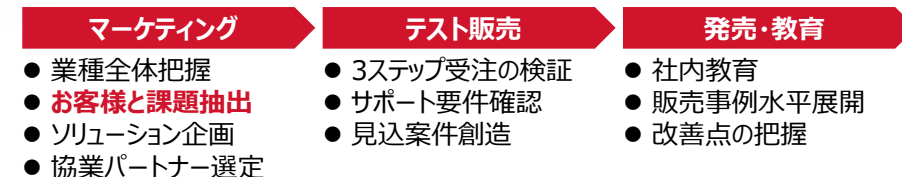
- 中小企業を対象に業種業務ごとのソリューションをパッケージ化
- セールスのモノ売りからコト売りへの体質変換
- リコーの強み
 - お客様の現場の課題の深掘り・業種業務のニーズ把握と商品開発
 - OP事業・OS事業で培った中堅・中小顧客基盤
 - 全国に広がる販売・サービス網、導入から運用まで顧客に伴走する力

ESGと事業成長の同軸化

- 中小企業顧客カバー率は16.7%（MFP顧客の27.6%）*1、顧客の課題解決貢献が拡大
- 中小企業担当セールスのほぼ100%、取扱販売店の90%以上で販売実績あり
- 顧客数増（開拓）と1顧客あたり導入本数増（深耕）の2軸でさらなる成長をめざす

*1 中小企業顧客カバー率、MFP顧客のカバー率は2023年9月末時点

スクラムパッケージ発売プロセス



開拓と深耕の2軸で成長



導入事例は中小企業応援サイトに掲載

<https://smb.ricoh.co.jp/>



事例①
1日中プレス機や溶接機が動く工場。なのに、タイパシティ経営で高く評価される 栄和産業（神奈川県）



事例②
金澤おでんの老舗が、来店客、ネット顧客向けと就職希望者向け、更に社内システムを大幅強化しサービス向上へ 赤玉（石川県）



事例③
人を大切にする経営のため、デジタルで情報、知識、体験を共有。地域で一番の太陽光発電事業者を目指す ひだかや（岡山県）

<GEMBA> マルチサポートによる医療機器安定稼働への貢献

地域・社会の発展

- カスタマーエンジニアのリスキングにより保守対象を医療機器に拡大
安心・安全な医療のためのインフラ維持に貢献

社会・顧客課題

- **安心・安全な医療のためのインフラ維持**
- 遠隔地の医療機器保守・メンテナンス
- **ネットワーク化が進む医療機器への対応**スキルがある保守サポート人員の不足

リコーの取り組み・強み

- カスタマーエンジニアのリスキングを展開
- 全国15拠点で医療機器修理業の認可取得
- リコーの強み
 - 遠隔地も含めた広範囲をカバーできる保守サービス網
 - OP事業・OS事業で培った**カスタマーエンジニアのネットワークスキル**

ESGと事業成長の同軸化

- 取扱機種増、医療機器パートナー拡大による新たな顧客の獲得 (ex. GEヘルスケアとの提携等)
- **医療機器メンテナンスを切り口にした顧客の深耕**
- **医療機器サービス人材を2025年度末までに倍増**

保守対象領域の拡大イメージ



マルチサポート先導型の価値提供モデル



<環境配慮型複合機> 業界最高水準の環境性能を実現

- 業界最高水準の環境性能を実現したA3カラー複合機を開発
脱炭素社会の実現、循環型社会の実現に貢献

社会・顧客課題

- 脱炭素、サーキュラーエコノミーなど**社会全体での環境負荷低減**
- より環境に配慮した製品・サービスの調達

リコーの取り組み・強み

- **長年に亘る**製品ライフサイクル全体での環境負荷削減活動
- 社会・顧客要求を先取りした製品・技術開発
- リコーの強み
 - A3複合機世界初「**プラスチック回収材搭載率50%**」を実現
 - 従来機から**カーボンフットプリントを約27%削減**
 - 生産工場の使用電力は100%再生可能エネルギーを使用

ESGと事業成長の同軸化

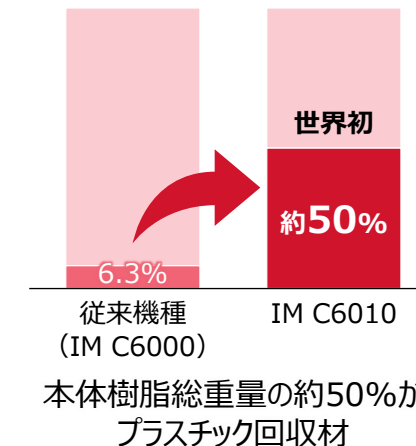
- 環境訴求による他社との差別化、法規制対応
- 高まる**脱プラ、CFP開示、カーボンオフセット要求への先行対応**

脱炭素社会の実現

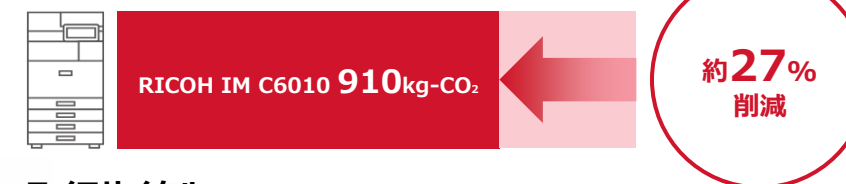
循環型社会の実現



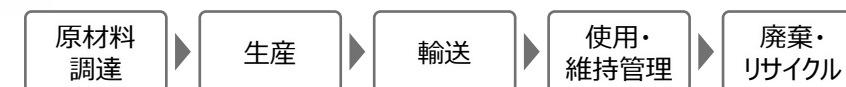
本体包装のプラスチック材料を
従来機比約54%削減



CFPの低減



ライフサイクル



商品ライフサイクル全体の環境負荷(カーボンフットプリント)を
従来機より約27%削減

<ラベルレス> 包材のラベル・プラ削減による省資源への貢献

- 包材に直接印字できるラベルレスサーマル技術を開発
顧客の製品・ビジネスモデルのサーキュラーエコミー対応を支援

社会・顧客課題

- 脱炭素、サーキュラーエコミーなど**社会全体での環境負荷低減**
- **消費者の環境意識の高まりに対応**した商品開発・ビジネスモデルの転換

リコーの取り組み・強み

- 透明フィルムに直接印字可能な技術を開発、包装のラベルレス化を実現
- リコーの強み
 - **業界初の部分塗工技術**により、中身の見やすさと成分表示を両立
 - 世界トップシェアのサーマルペーパー・熱転写リボンで培った
物流・流通・医療・交通インフラ業界の顧客課題解決ノウハウ

ESGと事業成長の同軸化

- コンビニ業界を皮切りに、大手・中堅スーパーへ展開
(2022年よりセブンイレブン様、ローソン様に採用)
- 食品包材だけでなく、医薬包材・物流包材など**他業種展開が可能**
- 2023年4月に新会社「RNスマートパッケージング株式会社」を立ち上げ、事業拡大中

脱炭素社会の実現

循環型社会の実現

ラベルレスサーマル技術を活かした社会課題解決への貢献

環境負荷低減

生産性向上

在庫の削減

流通(食品)

医療

物流

製造



社会課題

脱プラ

食の安心・安全

フードロス

個品管理

セキュリティ性

自動化・省人化

ラベルレスサーマルを支える技術

インキ処方

加工

生産

マーキング

セブンイレブン様、ローソン様に採用いただいたパッケージ



中身の見やすさと成分表示を両立可能に
(業界初)

事業を通じた社会課題解決を支える顧客接点の活動

- リコージャパンでは全国700名のSDGsキーパーソンを中心にお客様のESG/SDGs活動を支援
お客様との関係強化に加え、具体的な商談の発掘・受注活動へと深化

各地域に根差した活動 (中部地区の例)

産官学連携「中部圏SDGs広域プラットフォーム」
のイベントにあわせて各支社でSDGsセミナーを開催。
個別の課題把握と提案活動につなげている



パートナー企業との連携 (山形支社の例)

相互のリソースやノウハウ等を駆使し、**地元企業のSDGs推進およびDX推進に必要な様々な経営支援**を行い、地域産業の持続的な発展に貢献

荘内銀行様との連携協定

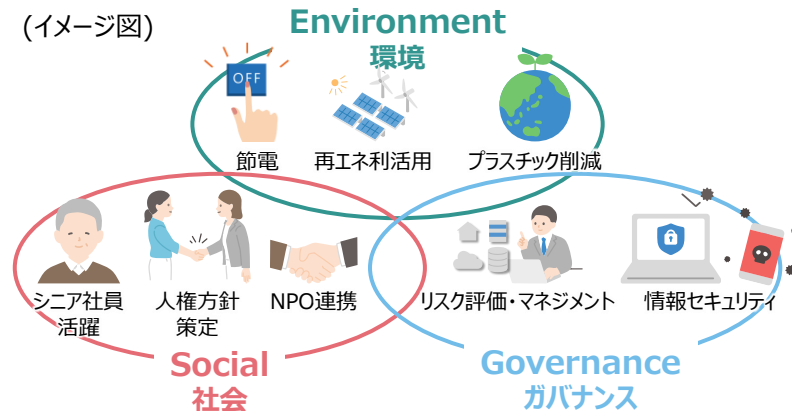


左から荘内銀行 松田 頭取、リコージャパン 伊賀上 支社長

顧客の課題抽出・整理 (山梨支社の例)

お客様の取り組みをリコージャパン独自のサステナビリティヒアリングシートを用いて、**ESG視点での取り組みを整理・可視化し、改善を支援**

サステナビリティシート



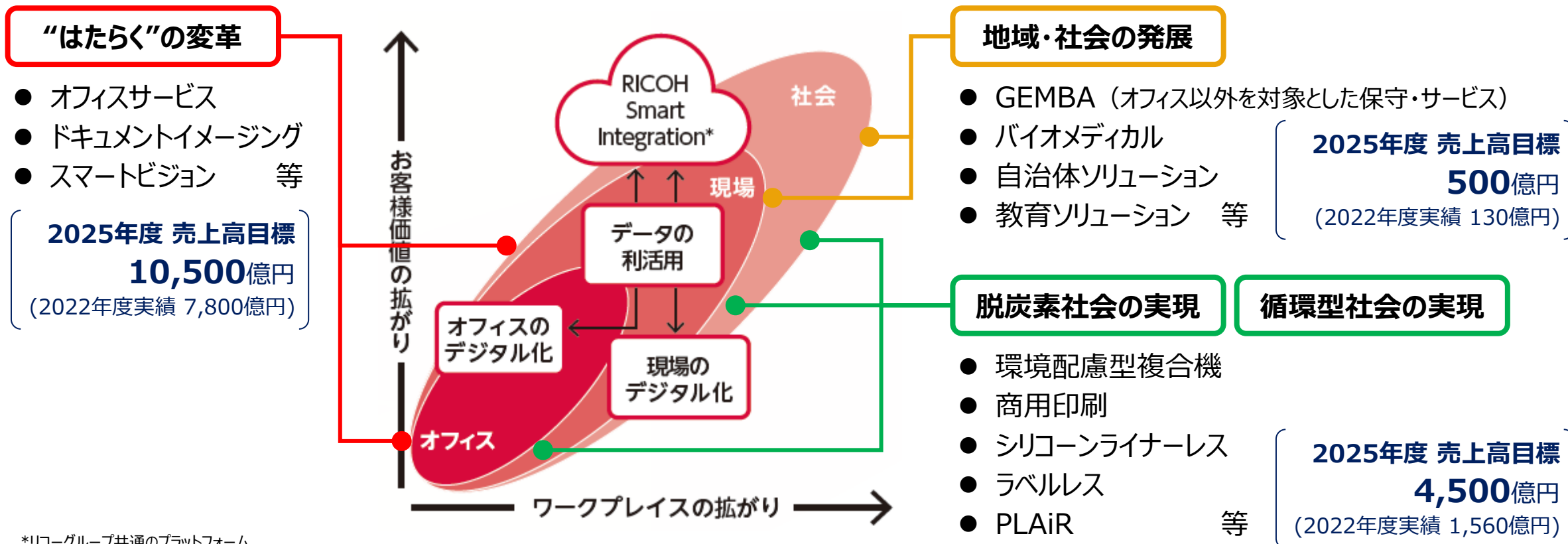
案件発掘・ 受注の事例

- SDGs研究会(地域毎に開催しているイベント)等からの案件化・受注
- お客様向け個別勉強会・インナーセミナーを通じた案件化・受注
- サステナビリティシートを活用した課題の整理・提案

社会課題解決型事業の21次中経目標

- マテリアリティ毎の売上高目標を設定、年度毎の進捗を開示することで、「ESGと事業成長の同軸化」の進捗を見える化

リコーの価値提供領域と社会課題解決型事業



*リコーグループ共通のプラットフォーム

*為替等の前提は2023年3月7日発表 21次中経と同様

- ESGグローバルトップを目指し政策・ルールづくりへの働きかけ、グローバル発信を強化

Reuters NEXT登壇 (11月 山下会長 @NY)



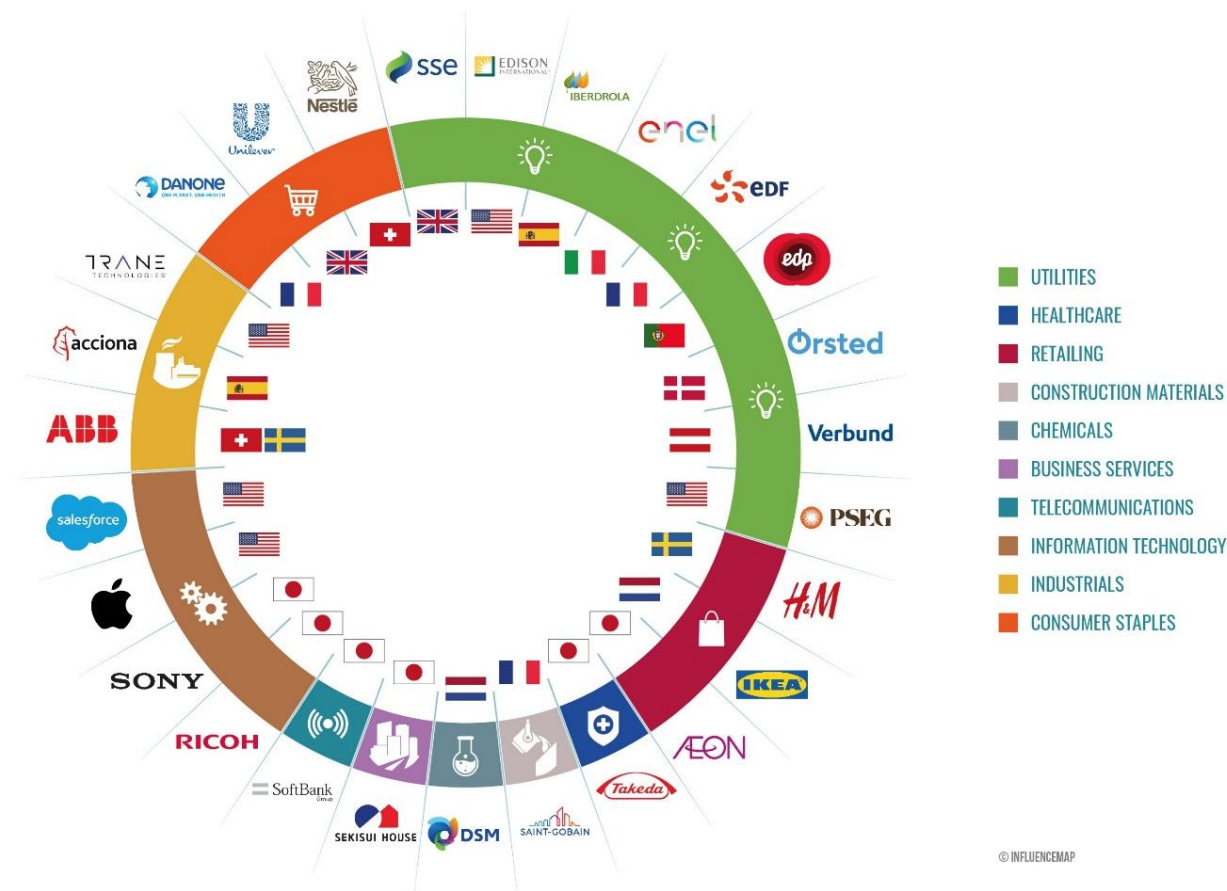
PRI in person
公式サイドイベントでの発信 (10月)



気候変動アクション
日本サミット登壇 (10月)



世界の気候政策エンゲージメントのリーダー企業 **27社**のうちの**1社**に選定



*2023年9月 InfluenceMap 発行
*「Corporate Climate Policy Engagement Leaders,2023」より

■ ステークホルダーとのコミュニケーション

- ESG活動のレベルアップと情報開示・対話が企業価値向上の両輪
- 今後も積極的にステークホルダーとコミュニケーションを図る

活動のレベルアップ

E 環境

- 気候変動対策
 - サーキュラーエコノミー
 - 化学物質管理
 - 生物多様性保全
- 等

S 社会

- ダイバーシティ&インクルージョン
 - バリューチェーンマネジメント
 - 人材マネジメント
 - 社会貢献活動
- 等

G ガバナンス

- ガバナンスの実効性
 - 役員の選任・報酬
 - コンプライアンス
 - リスクマネジメント
- 等



情報開示

● 法定開示

- 有価証券報告書
- コーポレートガバナンス報告書

● 任意開示

- ウェブサイト
- 招集通知
- 統合報告書
- ESGデータブック
- TCFDレポート
- CEレポート

対話・エンゲージメント

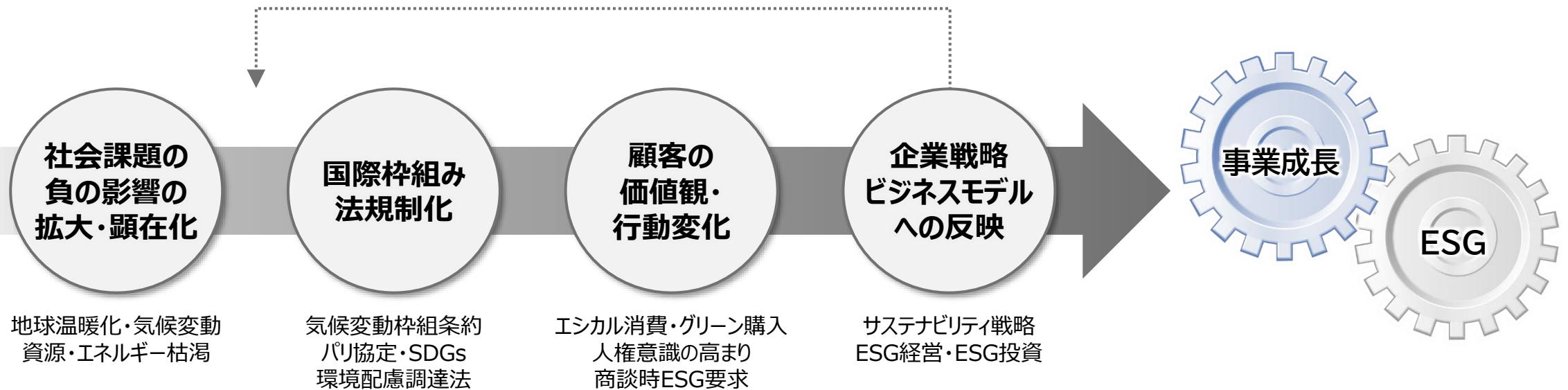
- ESG説明会
- ESG個別ミーティング

- **グローバルトップレベルのESG活動を目指す**
- **さらなるESGと事業成長の同軸化に挑戦**
 - 事業戦略を後押しするESG目標（デジタルサービス変革、社会・顧客の期待）（P.8）
 - 経営システムとの統合の強化（16のESG目標と役員株式報酬制度）（P.10）
 - 事業を通じた社会課題解決の強化/お客様への提案強化（P.19）
 - アドボカシー活動とグローバル発信の強化（P.27）
 - 積極的な情報開示、ステークホルダーと双方向コミュニケーションは今後も継続（P.28）

- 今後もESGを将来財務*1と位置づけ、ESGと事業成長の同軸化を図り、ESGグローバルトップを目指した挑戦を続けます

リコーグループのアプローチ

社会・顧客の変化の後追いではなく、先駆けた動向把握と経営戦略反映で企業価値向上に繋げる



*1 将来財務（ESG）：今から取り組むことで3~10年先の財務に好影響を与えるとの考え（現在の財務にも過去のESG活動の結果が影響）

RICOH

imagine. change.